

鍛圧機械 全会員受注グラフ (月次業況調査)

一般社団法人 日本鍛圧機械工業会

2021年6月8日

2021年5月度 鍛圧機械 全会員受注動向 月次業況調査コメント

- 概況 受注総合計は230.9億円と、昨年5月が低かったこともあり、前年同月比で2.3倍となり、プレス系、板金系ともに国内外において回復基調にはいった模様。全世界的にもコロナ禍による経済の不透明感は続くものの、中国・東アジア、そして北米での回復傾向が顕著となっている。
- 機種別 プレス系機械は92.7億円、前年同月比3.3倍増。小型プレスが約2倍増、中型プレス約7倍増、大型プレスも約3倍増であった。油圧プレスは約3倍増、フォーミングも約7倍増となった。板金系機械も69.8億円と前年同月比2.6倍増となり。パンチング、レーザ・プラズマともに約3倍増で、プレスブレーキも約2倍増となっている。
- 内外別 国内は77.8億円、前年同月比2.2倍増。自動車、金属、一般、鉄鋼・非鉄金属は軒並み約2~3倍増となったが、電気のみ54.5%減であった。(機種計) 輸出は84.7億円、前年同月比4.3倍増。中国向が約5倍増、韓国・台湾向約3倍増、北米向が67.3%増と全般的に伸長傾向にあります。

鍛圧機械 全会員受注動向 月次業況調査 推移グラフ



